

## Android、iOS 携帯端末向け AR クラウド情報・コンテンツ統合型配信プラットフォームを開発 名刺の配信サービスと観光情報配信サービスを開始 ～県内観光及びビジネスシーンで今後展開～

### 1) 概略

株式会社インタラクティブラボラトリー（代表取締役 武田政樹 東京都豊島区）と株式会社インタラクティブラボラトリー沖縄（代表取締役 嘉数岩夫 沖縄県うるま市）はAR技術を活用し、映像や音声、リンク、地図情報、2D、3Dキャラクターやエフェクトなど数百万を超えるコンテンツと情報を同時に扱い発信可能なクラウドベースの情報・コンテンツ配信プラットフォーム「**未来 MediAR（未来メディア）**」を県内で初めて開発、そのシステムを利用した名刺情報提供サービスを本日よりFMうるま（代表取締役 伊波良和）と開始致しました。

### 2) 開発の背景

近年 iPhone、iPad、Android 端末といったスマートフォンの技術は爆発的に発展し、PC の売り上げをすでに超え世界的に非常に大きな規模のビジネスとなり、世界の IT 産業全体をけん引する新たなテクノロジードライバーとなっています。

こうした中で CPU 処理性能、またグラフィックチップの処理性能の向上も著しく、一般ユーザが個人で持つ数万円程度の端末でも 20～30 年前には専用の CG ハードウェアでしか得られなかったもの以上のリアルタイム CG や画像認識等が実現できる状況になっています。

特に AR（Argmented Reality：増強現実・拡張現実）と呼ばれる画像認識等を利用した先端技術も軍事用や医療用の専用機器でしか利用できなかった時代から、現在は一般の携帯端末でも十分実用的な利用が可能になってきています。

一方で、これまでは特に開発・運営コストの面から、こういった技術が一般に広がりづらい現状がありました。

株式会社インタラクティブラボラトリー及び株式会社インタラクティブラボラトリー沖縄はこの問題に関して、どなたでも利用可能になるような低価格で高性能な AR 映像配信の汎用システムを先日開発に成功しライダルの分野でサービスを開始しました（「感謝の扉」）。今回はこのシステムをさらに大規模に拡張し、かつ機能を映像配信にとどまらない各種情報・コンテンツ配信に広げる事で、ビジネスや観光シ

ーン等含めたあらゆる分野での活用を十分に可能にしました。

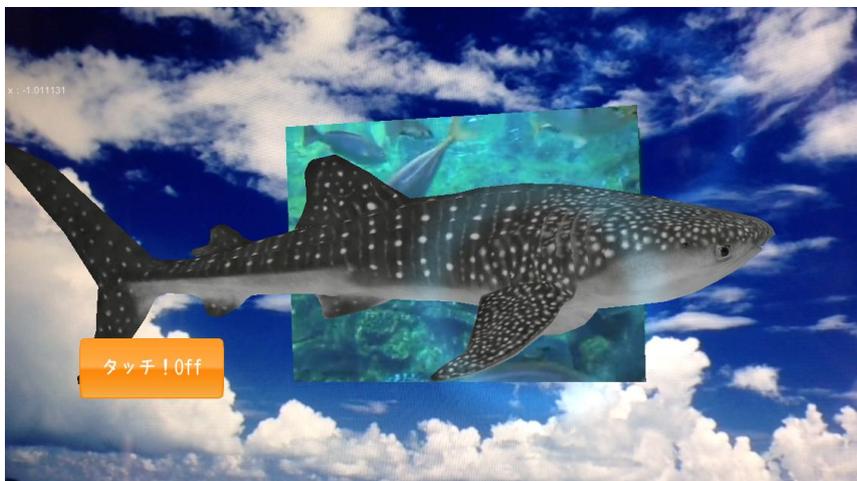
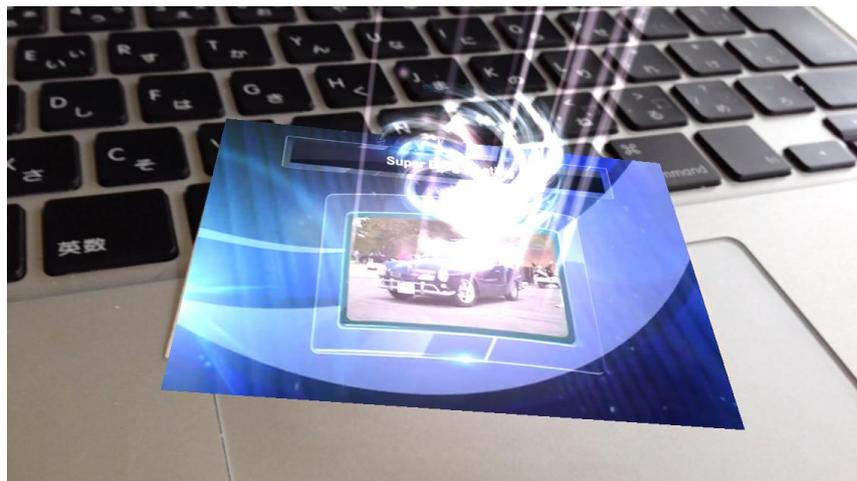
### 3) 「未来 MediAR (未来メディア)」に関して

今回サービスを開始する「未来 MediAR (未来メディア)」は AR 技術を利用しながら、そのユーザにもたらす驚き、素晴らしいユーザエクスペリエンス、またどこでも極めて多数のデータに簡単にアクセス可能な即時検索性などの特異な特徴をさらに生かす事で、AR という技術の枠にとどまらない**全く新たな未来型情報・コンテンツ配信メディアとして位置づけるサービス**としてとらえています。このシステムでは**映像だけに限らず**、音声、リンク、地図情報、各種エフェクト、ユーザとインタラクションできる 2D, 3D キャラクター等を含めたデータをクラウド上で登録し統一的に一つのアプリで配信する事ができます。これは今までに世界で現存する AR 配信システムの中で類を見ない自由度の高い、大規模なサービスとなっています。

エフェクトは現在 25 種類以上の選択が可能で、タッチをした際にもエフェクトが出るように設定する事もできます。また URL のリンクや地図は各マーカーごとにも設定でき、ブラウザや GoogleMap 等に飛ばしてユーザに便利に使っていただく事ができます。エフェクトだけでなく、さまざまなプログラムで動作する機能を個々に追加する事もできます。



(図 1) 未来 MediAR (未来メディア) タイトルロゴ



(図2) 認識と表示の様子

#### 4) システムの特徴

このシステムはインタラクティブラボラトリーの長年培った3Dアーケードゲーム開発、先端的アプリ開発、3Dアバターサーバーシステム開発等を開発してきたノウハウを十分に生かし、3D空間上に配置されたマーカを認識し、Qualcomm社の提供するAR専用ライブラリVuforiaで可能となったCloud Recognitionの機能等を最大限に活用して、最大数百万以上の異なったマーカ上にそれぞれ別のコンテンツを配信する事ができます。

マーカとコンテンツは独自開発の専用コンテンツサーバーに登録する事ですぐに利用ができ、入れ替えもサーバー上で行う事ができるため、ユーザはコンテンツの入れ替えを意識することなく新たなマーカとそれに紐づけられたコンテンツをいつでもどこでも見たりインタラクションをする事ができます。

またインタラクティブラボラトリーで取り扱う街や施設全体の広域で単一のSSIDで利用でき、クラウド管理が可能な高機能WiFi機器、Merakiの無線LAN装置と組み合わせることで、大きな帯域と専用スプラッシュ画面等の設定を行い、今までにない全く新たなユーザエクスペリエンスを提供する事が可能です。

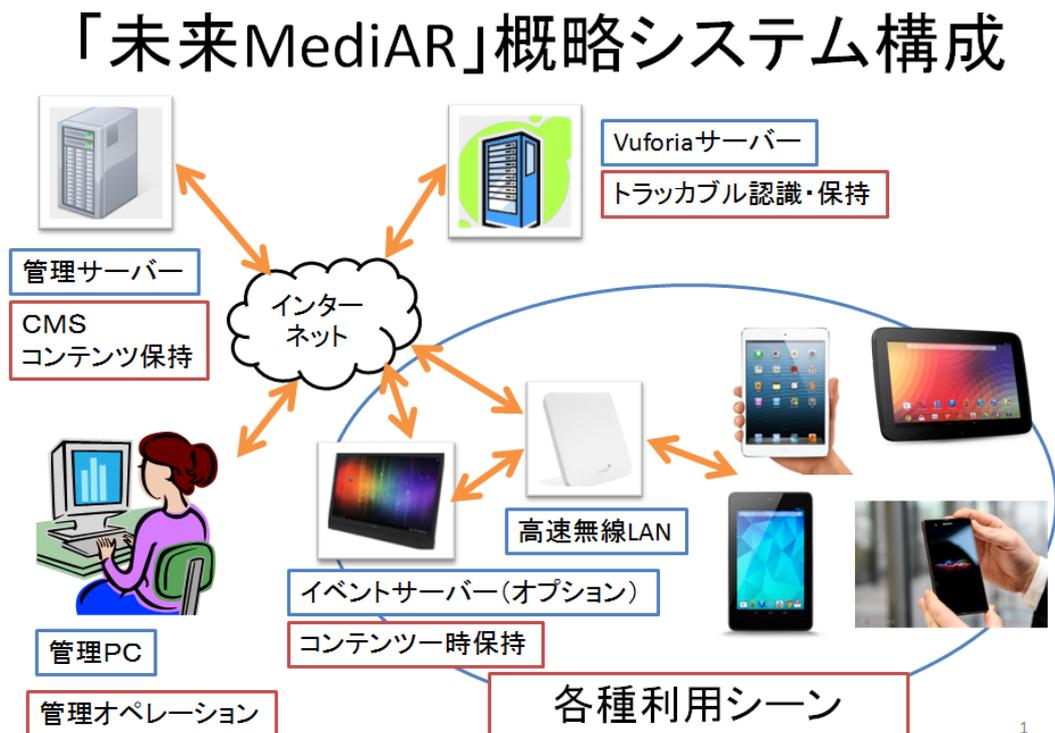


図3) システム概略システム構成

## 5) 今後の予定

インタラクティブラボラトリー(沖縄)と FM うるまではこの低価格でかつ大規模、高機能なシステムの特徴を生かし、主にまず**県内で名刺と観光案内用プラットフォームとして活用していきます。また那覇国際通り等での商店情報提供サービスについても早期に開始してまいります。**また AR 技術と各種の情報を日本、世界、また沖縄で安価に、数万を超える極めて多数の箇所で利用可能にしこのシステム自体を外販・受注販売してまいります。また「感謝の扉」で協業している株式会社トレッドにもこの技術を提供し協業してまいります。

インタラクティブラボラトリー(沖縄)は ICT と沖縄観光を結び付ける「沖縄 ICT 観光コンソーシアム(OITC)」の主幹企業の1つであり、また観光業者が100社以上集まる「沖縄観光の未来を考える会」での ICT 推進アクション委員会を提言して活動しております。そのため、こういった安価な最先端システムの利用を各種企業や団体と一緒に進めて行き、県全体の観光産業、ICT 産業、またそこから派生した第1次、第2次産業等に应用し、県全体の発展に繋げて行きます。

また各種広告ビジネス、また観光業界、文化事業等に広く安価に利用いただくようなサービスを今後この「未来 MediAR (未来メディア)」の中で引き続き開発・展開し、情報と現実世界の融合した新たなで便利な世界を実現するため邁進してまいります。

以上

Android は Google Inc. の商標または登録商標です。

iPhone, iPad, iOS は Apple Inc. の商標です。

Qualcomm は Qualcomm Incorporated の登録商標です

Vuforia は Qualcomm Incorporated の商標です

---

株式会社インタラクティブラボラトリー(代表取締役社長:武田政樹)は民生用・産業用のインタラクティブメディアや機器に関わる高難易度・高度技術の要素技術開発・コンテンツノウハウの研究開発・事業化を行う ICT 開発企業です。

関連会社である株式会社インタラクティブラボラトリー沖縄(代表取締役社長:嘉数岩夫)と共に、ICT 技術を観光産業に利活用したサービスの展開も行っております。

お問合せ先: <http://www.ilaboratory.jp/contact2.html>